

#b#b 100人の予定表(12) #b#b 関西(H23-12/10現在)

関係各位のご依頼によりご案内。各行事へのご参加は必ず主催者へご確認下さい。
各種情報はお早めにヨロシク！ 毎月、末日までに翌月分をご案内したいと思っています。

NPO法人教育再生地方議員百人と市民の会 理事長 大阪市議員 辻淳子 発行責任者 事務局長 増木重夫
TEL 090-3710-4815 FAX 06-6835-0974 h100prs@oregano.ocn.ne.jp <http://www1.ocn.ne.jp/~h100prs/>

1 議員への「説得」が議会制民主主義の基本だと思います！

今月もう1回だけ私に好き放題書かせてください。文責は全て私(増木)です。
日本国憲法の前文に「正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し」と書かれています。
地方では「国会」を「地方議会」と置き換えてください。チョ〜〜極端な言い方をすると、政治的な言動は議員にしか権限がない。国民・市民は代表者を通じて行動しろ。もちろんデモや街宣等の直接的な行動はアカン！・・・アカンというより聞く必要がない。とも読み取れます。もちろん思想信条、表現の自由も同時に保証されていることは百も承知していますが。さらに極端な言い方をエスカレートさせると、行政は国会地方問わず代表者(議員)の言うことだけ聞いていたらいいいのであって、「一般国民・市民の言うことなど知らんワイ！ 議員を通じて言うてこい！」でも構わないわけです。無茶苦茶な理屈ですが、一応筋は通っていませんか。憲法には「代表者を通じて行動し」と書いてあるわけですから。

政治的な活動とは先ず議員に立候補する。それがダメなら投票に行く。そして議員を説得することだと思います。国民・市民活動とは議員への説得合戦なのです。

そこで百人の会は「議員と市民の会」ですから、議員に訴える、説得する場を作ることが最も大事と心がけています。下記要領で、理事会を催しますので行政への不満、抗議、是非訴えに来てください。今回に限らず次回でも次々回でも。論破に自信のある人は理事会に。酔わせて「ウン」と言わせるのが得意な方は忘年会で（いつも皆『返り討ち』にありますが）。弊会理事長辻淳子は大阪維新の会大阪市議団の女将（?）。「維新の『教育基本条例』どこが大事なの？」兵庫の道徳教育が最も詳しい森脇兵庫県議。先日、ピース大阪の偏向前進を食い止めた上島府議・・・等々。回答に下調べが必要な事案は3~4日前に「事前通告」を

「百人の会」第70回定期理事会のご案内

日時、会場 平成23年12月27日（火） 午後6時00分~7時50分

「たかつガーデン」橋の間 大阪市天王寺区東高津町7-11 【近鉄上本町】 約4分

◎ 忘年会

8時より「南海飯店（ハイハイタウン半地下）」において（3000円くらい）

主な議題 1 今年の総括、登記状況の説明 2 来年の計画
3 その他（参加者からの意見交換）

理事会 理事会は原則2~3か月毎に開かれ、会の重要案件を議論します。理事会は理事の方はもちろんのこと、理事以外の方のご出席も大歓迎です。但し、部屋の広さの問題がありますので、理事以外の方は「行くゾ〜〜」と、事前にご一報いただければ助かります。

② 橋下新市長“君が代斉唱”起立PR不発…ボクシング「亀田祭り」

19日に大阪市長に就任する「大阪維新の会」の橋下徹代表（42）は7日、大阪府立体育会館で行われた亀田大毅のプロボクシングWBA世界戦セレモニーで、松井一郎大阪府知事（47）と一緒に君が代を斉唱した。しかし、観客に起立斉唱の呼び掛けを忘れた上、マイクの音量が小さく、歌声が十分に会場に響き渡らないなど誤算続き。府知事時代に「君が代条例」を成立させ、意気込んで臨んだはずだった“起立斉唱PR作戦”は不発に終わった。

「ハシモト〜!」「維新の会、バンザ〜イ!」新市長を迎える大歓声。“主役”亀田兄弟の登場にも負けない盛り上がり戸惑ったのか、慣れないリングの上で誤算が重なった。

直立不動の姿勢で日の丸を見上げ、松井知事と並んでの国歌斉唱。実は当初、会場全体で合唱するように声を掛ける予定だったが、「松井さんが（観客に）呼び掛けるのを忘れてしまわれて…」。段取りを忘れた上、歌い出しも遅れ、事前にマイクの音量を絞っていたことも重なって、橋下氏は「非常に声の小さい君が代になってしまいました」と反省しきりだ。

亀田兄弟からオファーを受けて実現した今回の国歌斉唱。松井知事はこの日昼の会見で「政治的な主張とっていない」と述べたが、橋下氏は前日の6日、府知事時代に成立させた「君が代条例」に反対する一部教職員を念頭に「立って歌いたくない教員には、しっかり見てもらいたい」と、お手本を示すとばかり宣言していた。

先月の選挙戦でのどを酷使したせいで声はまだガラガラだが、それを押しての熱唱は空回り。全員起立の斉唱を反対派に見せつける機会も逃し、悔いが残る様子だ。「いつも僕が『大きい声で歌え』って言うてるのに、明日から批判されちゃいますね」と橋下氏は苦笑い。それでも、「マイク（の音量）を絞ってなかった方が放送事故みたいになってたでしょうけど」と最後は笑い飛ばした。“お手本”を示す斉唱は次回に持ち越しとなったが、国歌斉唱は当たり前のスポーツ興行とは違った場所での斉唱となれば、また是非を問う議論を呼びそうだ。

◆君が代条例 「大阪府の施設における国旗の掲揚及び教職員による国歌の斉唱に関する条例」の通称。大阪府内の公立学校の教職員に対し、全国で初めて国歌斉唱時の起立を義務づけた内容。府施設での国旗の常時掲揚も義務。罰則規定はない。府議会過半数の「大阪維新の会」が提案し、他の主要会派はいずれも反対したが、今年6月3日に可決、成立。